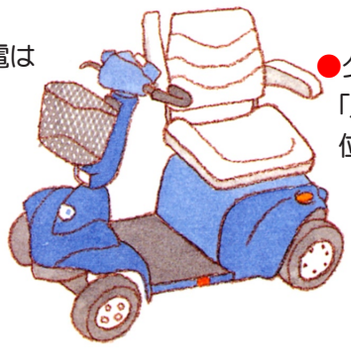
運転前の点検と正しい操作手順をしっかりと覚えましょう

① 走行前には十分な点検を

●バッテリの充電は充分ですか?

●タイヤに摩耗・損傷はありませんか?



●クラッチレバーが確実に「入り」（走行）の位置になっていますか?

※詳しくは付属の「取扱説明書」をご参照ください。

② 正しい運転姿勢を

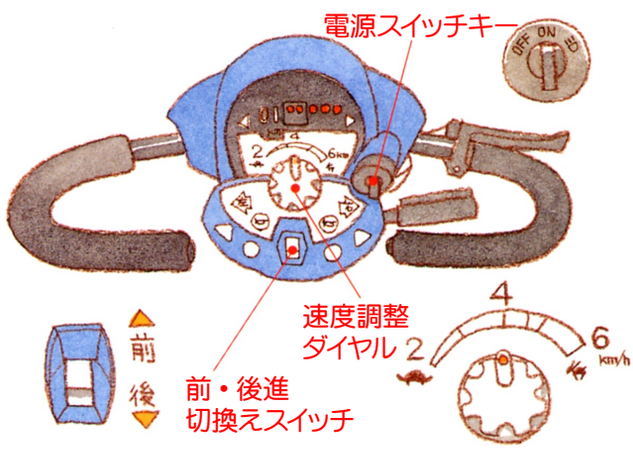
運転席に深く腰掛けて、ひじ掛けを下まで降ろし、シートの回転がレバーで固定されているか確認して下さい。

③ 各操作部の設定

●電源スイッチキーを右に一段回して「ON」にします。
※二段回すとヘッドランプが点灯します。

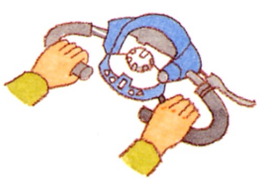
●前・後進切換えスイッチの位置を確かめ、動かしたい位置に切り換えます。
※走行中に前・後進切換えスイッチを切り換えないでください。必ず、一旦止まってから切り換えてください。

●速度調整ダイヤルの「2」～「6」の位置を確かめ、適した速さの位置に切り換えます。



④ 発進・停止のしかた

●走行／停止レバーをゆっくり下に押さえると走り出します。



●走行／停止レバーを離すと自動的にブレーキがかかって停止します。

※走行／停止レバーを強く握り込んでも停止します。（緊急ブレーキ付き）

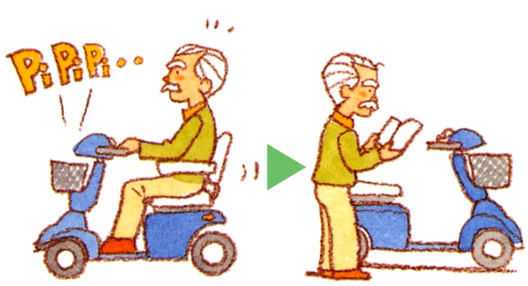
⑤ クラッチレバー

クラッチレバーは必ず「入り」（走行）の位置で乗車および走行してください。

※クラッチレバーが「切り」の位置の時は電磁ブレーキが効かず、転倒・衝突の恐れがあります。

⑤ 警告ブザー

ラクーターには警告ブザーが付いています。警告ブザーが鳴った時は、必ず「警告の意味」を取扱説明書で確認してください。



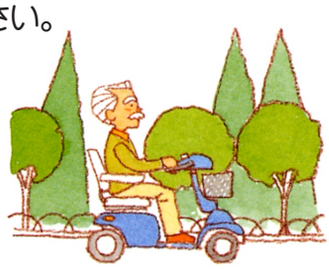
⑥ 降りる時

ラクーターから降りる時は、速度調整ダイヤルを「2」にして、必ずキーを抜き取ってください。

練習は十分に、マナーはきちんと守り運転しましょう

① 十分に練習をしましょう

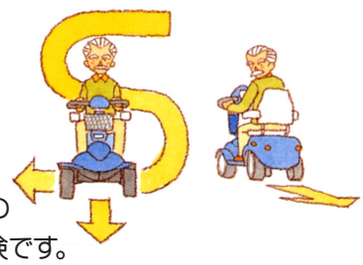
運転に慣れるまでは、公園などの安全な場所で、十分に練習してください。



② 練習のしかた

最初は「前進」で速度調整ダイヤルを「2」（最低速）にして、直進走行・大きなS字走行・回転走行、続いて「後進」へと練習してください。十分に慣れれば「4」（普通）そして「6」（最高速）へと切り換えて、順次練習して運転に慣れてください。

※速度調整ダイヤルが「6」（最高速）での急なハンドル操作や蛇行・急旋回は危険です。



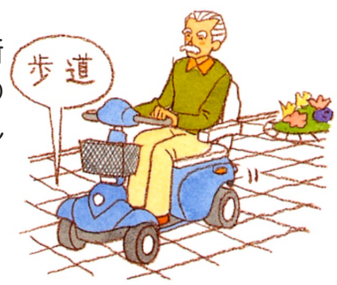
③ 初めて道路を走行する時

初めて道路に出る時は、介助者と一緒に、舗装された道幅の十分ある道路を選んで走行してください。

④ 道路を走行する時

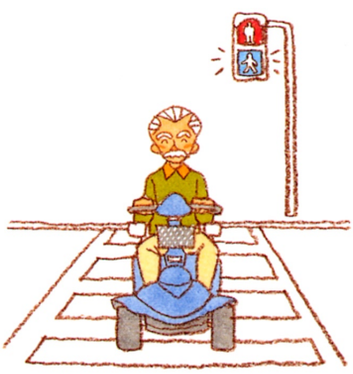
歩行者専用道路または歩道を走行してください。

※歩道のない所では、道路の右側を走行してください。



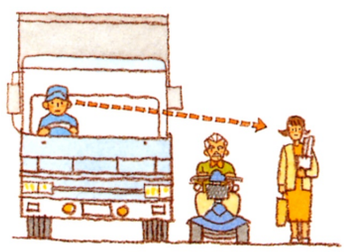
⑤ 道路を横断する時

道路を横断する時は、信号機のある横断歩道を通りましょう。また、信号の途中や変わり目などは、渡りきれないことがあり大変危険ですので、次の「青」まで待って余裕を持って横断してください。



⑥ 大型車の走行がある時

大型車からは死角に入りやすく、運転手から見えなくなることがありますので、十分注意してください。



⑦ 坂道を走行する時

急な坂道（10°以上）の走行はできるだけ避けるか、介助者を頼みましょう。慎重な運転を心掛け、ゆっくり走行してください。

⑧ 下り坂を走行する時

下り坂は速度調節ダイヤルを「2」（最低速）にして、前進で走行してください。

⑨ 斜面を走行する時

3°以上の傾斜面の走行は避けてください。坂下側にハンドルが取られやすく、転倒する場合があります。

⑩ 段差のある所

高い段差や、階段の上り降りは避けてください。段差の走行は、介助者を頼みましょう。

※上り降りできる段差は、8cm以内です。

⑪ 溝のある所

大きな溝の通過は避けてください。溝越えをする時は、速度を落として、ゆっくり渡ってください。

※通過できる溝幅は、12cm以内です。

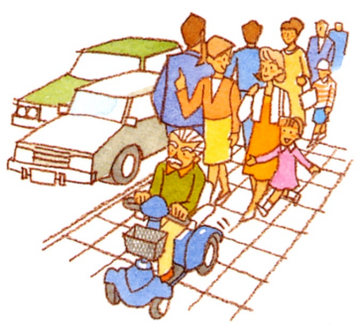
⑫ 次のような場合は走行を避けるか、介助者の方と同行してください

●走行を避けてください

- ●雨降りや降雪時
- ●ぬかるみ
- ●凹凸の激しい道路
- ●砂地や砂利道
- ●雪道・凍結路
- ●エスカレーター
- ●夜間

など

●走行を避けるか、介助者の方と同行してください



- ●交通量の多い道路
- ●道幅の広い横断歩道
- ●踏切
- ●防止柵のない側溝や路肩付近
- ●人込みや雑踏の中

など

危険ですのでお止めください

❶ はみ出し禁止

走行中に、車体から足や身体をはみ出さないでください。車体と障害物の間に足や身体を挟むと、事故につながる恐れがあります。

❷ 二人乗り

二人乗りは絶対にしてはいけません。また、子供に運転させないでください。

❸ けん引

他の車類や、荷物類をけん引しないでください。

❹ 迷惑な走行

乱暴な運転は、周囲への迷惑になるばかりでなく、事故にもつながります。

❺ 携帯電話の使用

走行中は、携帯電話や無線通信器等を使用しないでください。使用する時は、安全な場所に止め、ラクーターの電源を「OFF」にしてください。

❻ 飲酒運転

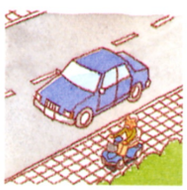
気分の優れない時や、飲酒をした時は、運転しないようにしましょう。

歩行者としての交通ルールを覚え、安全に走行しましょう

① 道路上で走行できる場所

●歩道のある道路

歩道や十分な幅がある路側帯（白線の外側）を通りましょう。道路は絶対通らないでください。



●歩道のない道路

歩道も十分な幅の路側帯もない道路では、原則として道路の右端を自動車などに注意して通ってください。

●歩行者専用道路

自転車及び歩行者専用　歩行者専用

この標識がある道路は、通ることができます。

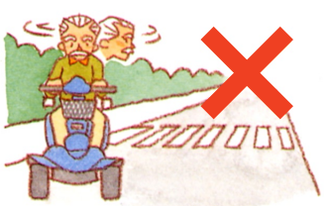
※「歩行者横断禁止」の標識がある場所では、道路を横断してはいけません。

歩行者横断禁止標識

② 道路の横断のしかた

●横断歩道や信号機のある交差点

横断歩道や信号機のある交差点が近くにある時は、その横断歩道や交差点を横断しなければなりません。



●信号機がある場所

信号機のある場所では、信号が「青」になってから渡りましょう。「青」が点滅中に横断するのは危険です。次の「青」になるまで待ちましょう。

横断できます

横断を始めるのは危険です

横断してはいけません

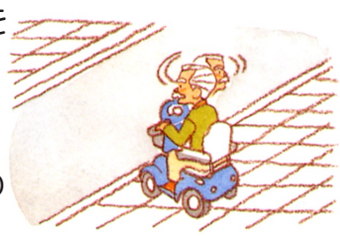
※押しボタン式の歩行者用信号機のある場所では、ボタンを押し「青」になってから渡りましょう。

●信号機がない場合

信号機がない場所では、横断歩道を探して横断しましょう。

●横断歩道がない場合

横断歩道がない場所では、見通しの良い場所を探して横断しましょう。



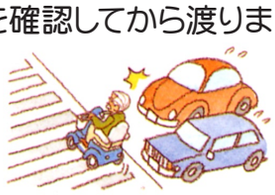
●真っすぐ横断しましょう

道路を斜めに横断してはいけません。

③ 注意して渡りましょう

●横断歩道を渡る時

横断歩道では、左右を良く見て、自動車や自転車が近づいてこないか、または停止したかを確認してから渡りましょう。



●交差点を渡る時

交差点付近では、右折・左折の自動車に十分注意してください。

●踏切を渡る時

踏切を渡る時は、踏切の手前で必ず一度止まり、左右の安全を確認して、溝・レールに車輪を取られないように注意して渡りましょう。